



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年1月28日

上場会社名 東京日産コンピュータシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3316 URL <https://www.tcs-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉丸 弘二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 赤木 正人 (TEL) 03-3280-2711
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	6,240	10.5	362	3.6	366	3.7	249	1.9
2019年3月期第3四半期	5,649	△18.5	349	△8.5	353	△8.2	244	△6.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第3四半期	39.71		—					
2019年3月期第3四半期	38.95		—					

(注) 当社は、2018年5月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年3月期第3四半期	百万円 4,978	百万円 3,167	% 63.6
2019年3月期	5,209	3,022	58.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 3,167百万円 2019年3月期 3,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	13.5	560	2.5	562	1.7	387	1.0	61.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	6,300,000株	2019年3月期	6,300,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	23,815株	2019年3月期	27,515株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期3Q	6,274,860株	2019年3月期3Q	6,275,884株
------------	------------	------------	------------

(注) 当社は、2018年5月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善により緩やかな景気回復基調で推移してまいりましたが、通商問題が世界経済に与える影響など海外情勢の不確実性や相次ぐ自然災害の影響などにより、依然として先行き不透明感は払拭できない状況が続いております。

当社の属するIT業界におきましては、ハードウェアや通信コストなどの低価格化が進む中、AIやIoTなどのIT技術革新は加速的に発展し、企業を取り巻くIT環境が激変するとともに、新たなビジネスチャンスが創出されております。また、労働人口の不足を背景に、IT技術の利用はより重要な局面を迎えようとしております。そのような状況の下、顧客ニーズはますます多様化し、そのニーズに対応しなければ今後のビジネスが継続する保証はないと認識しております。

当社は、このようなダイナミックな事業環境に向き合い、「最も安心してITインフラを任せられる企業」を企業ビジョンと定め、顧客価値を創造するため、「顧客を深く理解すること」「最適なIT資源を提供すること」「最新の技術経験を提供すること」「最新の製品を提供していくこと」を行動指針とし、マネージドサービスカンパニーとして顧客の持続的成長を支援するベストパートナーを目指し、①マネージドサービスカンパニーとしての認知度向上、②ロイヤリティの高い顧客関係の構築、③顧客ニーズにマッチしたマネージドサービスの提供を基本戦略とした営業活動を行ってまいりました。

当社が提供するマネージドサービスは、顧客企業の情報資産の管理や運用・監視業務にとどまらず、「ITを駆使して、“し続ける。”」をコンセプトとし、「業務の不満・不便・不足の解消」と「新たな価値の創造」を永続的に提供することで、顧客企業の「コア業務への集中」「さらなる業務効率化」「生産性の向上」を約束するアウトソーシングサービスとして展開してまいりました。また、顧客企業の成長への次の「一手」を支える統合型マネージドサービス「ITte」を展開してまいりました。

当第3四半期累計期間におきましては、販売費及び一般管理費は増加したものの、Windows10パソコンなどハードウェア売上高が伸長するとともに、データセンターなどのサブスクリプション型サービスであるマネージドサービス事業が堅調に推移したことから、増収増益となりました。

また、受注状況につきましては、受注高は6,823百万円(前年同四半期は5,901百万円)と伸長し、受注残高は993百万円(前年同四半期は756百万円、前事業年度末は410百万円)となりました。

この結果、当社の当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高6,240百万円(前年同四半期比591百万円増、10.5%増)、営業利益362百万円(前年同四半期比12百万円増、3.6%増)、経常利益366百万円(前年同四半期比12百万円増、3.7%増)、四半期純利益249百万円(前年同四半期比4百万円増、1.9%増)となりました。

なお、当社は「情報システム関連事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末の総資産は4,978百万円となり、前事業年度末に比べ230百万円減少しております。これは、主に現金及び預金が506百万円増加及び電子記録債権が110百万円増加しましたが、売上債権の回収等により受取手形及び売掛金が647百万円減少及び有形固定資産や無形固定資産が減価償却費の計上等により167百万円減少したことによるものであります。負債については1,811百万円となり、前事業年度末に比べ376百万円減少しております。これは、主に前事業年度末における債務残高の支払い等により、買掛金が188百万円減少、未払法人税等が94百万円減少及び賞与引当金が45百万円減少したことによるものであります。純資産については3,167百万円となり、前事業年度末に比べ145百万円増加しております。これは、主に四半期純利益の計上が249百万円ありましたが、配当金の支払いが119百万円あったことにより、利益剰余金が128百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

顧客のIT投資に対する動向は見通し難い状況ではありますが、現時点では、2019年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,178,209	1,685,134
受取手形及び売掛金	2,218,596	1,570,904
電子記録債権	37,347	147,851
商品	51,705	72,831
仕掛品	8,667	17,140
貯蔵品	119	952
その他	356,243	299,266
貸倒引当金	△227	△172
流動資産合計	3,850,663	3,793,909
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	49,436	49,998
工具、器具及び備品(純額)	940,795	790,324
建設仮勘定	2,542	1,473
有形固定資産合計	992,775	841,795
無形固定資産		
投資その他の資産	70,891	54,482
投資有価証券	93,837	115,526
その他	223,525	195,035
貸倒引当金	△21,836	△21,836
投資その他の資産合計	295,526	288,726
固定資産合計	1,359,193	1,185,004
資産合計	5,209,856	4,978,914
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,067,009	878,214
未払法人税等	110,125	16,057
賞与引当金	93,120	47,970
その他	580,914	519,845
流動負債合計	1,851,170	1,462,087
固定負債		
退職給付引当金	325,710	338,015
長期未払金	10,900	10,900
固定負債合計	336,610	348,915
負債合計	2,187,780	1,811,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,740	867,740
資本剰余金	447,240	447,240
利益剰余金	1,700,865	1,828,968
自己株式	△26,914	△22,970
株主資本合計	2,988,930	3,120,978
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,145	46,932
評価・換算差額等合計	33,145	46,932
純資産合計	3,022,075	3,167,911
負債純資産合計	5,209,856	4,978,914

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	5,649,263	6,240,833
売上原価	4,665,572	5,211,579
売上総利益	983,690	1,029,254
販売費及び一般管理費	633,863	666,946
営業利益	349,826	362,307
営業外収益		
受取利息	60	51
受取配当金	2,895	3,243
受取保険金	1,034	1,187
その他	177	211
営業外収益合計	4,168	4,692
営業外費用		
雑損失	—	45
営業外費用合計	—	45
経常利益	353,995	366,954
特別利益		
固定資産売却益	—	33
投資有価証券売却益	3,999	—
特別利益合計	3,999	33
特別損失		
固定資産除売却損	506	575
特別損失合計	506	575
税引前四半期純利益	357,488	366,412
法人税、住民税及び事業税	87,316	96,689
法人税等調整額	25,728	20,530
法人税等合計	113,045	117,219
四半期純利益	244,443	249,193

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、情報システム関連事業を主要な事業内容とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。